



北上市立 鬼の館だより 第31号

KITAKAMI Oni MUSEUM

牛乳パックを
再利用して作ったのは
手すきのハガキ。
庭に咲いた花や
葉っぱを挟んで
できあがりを楽しみ♪
7月30日・夏休みワークショップ
「手すき和紙ハガ鬼作り」

北上ハイテクペーパーさんで
工場内を見学した後に
紙すきを体験させていただきました。
白くにごった水が
紙の"もと"なんだって。
すきわくをそっと持ち上げると…?
8月5日～7日・鬼っこわんぱく講座夏休み合宿
「ボクラ鬼っこ探検隊」

ろうけつ染めで
オリジナルの
てぬぐいをつくりました。
下絵は肝心
"ろう"で描くのは慎重に
きれいに染まるかドキドキでした。
8月9日・夏休みワークショップ
「鬼てぬぐい作り」



09 09年度・上半期レポート

公演会

みて、しつて、たのしんで
館で繰り広げられる鮮やかな舞をレポート

第15回 大乘神楽大会

— 呪法・祈禱・術と精悍の舞 —

6月14日(日)午前10時開会

野村 楽舞
大乗神舞

今年8保存会の出演により全15演目を披露いただきました。



初披露となる演目や若い世代の舞手やオカドも多く見られ、神楽の保存伝承に力を注ぐ保存会の活動が見受けられました。

また、今回は市内の高齢者福祉施設を利用していただいている方々をご招

芸能公演

4月から10月までの第4日曜日午後1時30分から

今年も市内各鬼剣舞保存会の協力をいただき、4回の善意公演を含む12公演を開催。

毎回プログラムはそれぞれ踊り組みによ



郷土芸能に浸る秋を味わってみませんか。

今年度はあと2回。

るもの。ジュニアの部による舞や、指導に当たっている幼稚園の先生方による舞が披露されるなど、若い世代や新しい層への伝承が広がりをみせています。

待し、用意した席が常時満席になるほどの盛況ぶり。筒井尚七氏の解説を受け、多くの観客を魅了しました。

夏休み

ワークショップ

7・8月中の6日間 8講座



牛乳パックを再利用しておはな紙で色付けしてみたよ。きれいにできたかな??

こどもの日

わくわくイベント

5月5日(日)午前10時開会

この日は「こどもの日」恒例の催しで、親子で楽しめる創作活動を通して鬼に親しんでもらうことをねらいに開催しています。

今年も人気は鬼剣舞の装束に着替える「鬼に変身」コーナー。毎年楽しみに来館してくれるお友だちもいるほど。着替えが進むにつれ、表情がひきしまつ



てくるように見えるのは気のせいじゃない!!



おに丸くんのキーホルダー、かわいくできましたよ。次はお母さんにつくってあげるね。

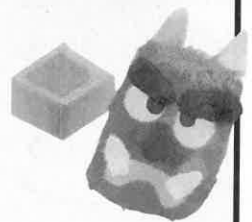
夏休みもやっぱり創作活動!今年「魔除けキーホルダー」「手すき和紙ハガ鬼」「鬼手ぬぐい」の3コース全て初登場のメニューを用意し、たくさん親子を迎えました。お父さん、お母さん力を合わせて作った作品はどれも思い出がいっぱいだね。

体験会

こんなことに挑戦しました
みて、かんがえて、つくって

09 09年度・下半期インフォメーション

- ★ 特別展
 - ❖ 故門屋館長追悼展 10月11日(日) - 12月6日(日)
 - ❖ よろず伝承展 12月20日(日) - 2月21日(日)
 - ❖ 平成21年度取蔵資料展 平成22年3月7日(日) - 4月18日(日)
- ☆ 鬼学講座 11月21日(土)・12月26日(土)・平成22年1月29日(金)・2月中旬
- ★ 芸能公演 10月12日(月) 飯豊鬼剣舞 10月25日(日) 御免町鬼剣舞
- ☆ 福豆節分会 平成22年1月31日(日) (予定)



盛岡大学社会文化学科4年
菊池 真実

私は2週間の実習を通じて、大学の授業で実際には行うことが出来ない経験をする事ができました。その大きな経験というのは、実習生による企画展示によるものです。

実習は前半と後半に分けて、企画展示に取り組む前の知識などの準備も行われました。前半は、博物館資料の正しい取り扱いの注意を受けながら、実際に資料に触れることができ、資料の性質を理解する上でとても助かりました。前半の終わりになると、いよいよ私たちの企画展示の考案が始まり、個人で考えた展示内容などについて討論会も行いました。決定した展示は指示のもと、自分たちで起案を行い、企画展のポスター作成にも取り組みました。展示物では私たちが独自で



鬼を分類し、来館者の方が持っている鬼に対するイメージ像に、何らかの変化を感じていただきたいと思ひ、展示をしています。

実際に展示を行うと、考えていた通りにいかないこともたくさんありましたが、実習生みんなで力を合わせて作り上げた展示なので、ゆっくり見て楽しんでいただけたら嬉しいです。

例年、大学からの依頼により、博物館などで働く専門職員「学芸員」の資格取得を目指す大学生の実習を行っています。今年は4名の実習生が2週間、資料の取扱いや施設運営について学んだり、石碑の拓本取りや事業の企画立案から展示まで、多岐にわたる内容を熱心に学習しました。

ここで、実習を終えての感想をご紹介します。

盛岡大学児童教育学科4年
平野 美音

私は今回の鬼の館での博物館実習を通して様々なことを学ぶことができました。特に感じたことは以下の2点です。

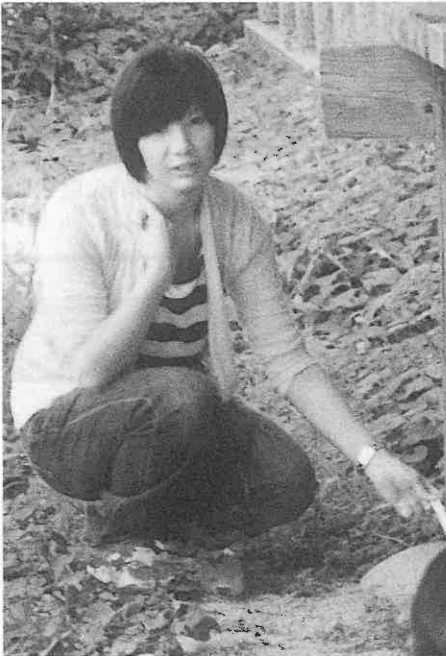
まず1点目は学芸員の仕事の多様性です。2週間の実習の1週目は主に調査の仕方や資料の取扱い方、拓本の取り方、実測の仕方、資料の受入や企画展の起案

等の庶務を学びました。普段学校では学ぶことのできない事だったので、とても楽しく実習できたのと同時に、学芸員の仕事に要求される、観察・処理・整理・コミュニケーションなどの能力の多様性に驚き、自分をもっと努力しなければならぬと感じました。

2点目は協力することの大切さです。今回の博物館実習生特別展を実習後半の1週間で無事準備することができたのは、実習生4人がそれぞれの得意分野を生かしながら協力してきたからこそだと思います。特に私は用事で2日も欠勤してしまったのですが、他の3人にフォローしてもらい自分の仕事をやり遂げることができました。本当に感謝しています。

この他にも博物館実習ではたくさん学ぶことができました。今回学んだことはこれから社会に出た時に活かしていきたいです。

最後になりましたが、ご指導して下さった学芸員の鈴木さんをはじめ鬼の館の職員の皆さま、本当にありがとうございました。



博物館実習



盛岡大学社会文化学科4年

高橋 さおり

2週間の博物館実習、無事に終えることができましたのは、御用繁多にもかかわらず、職員の皆様があたたかく受け入れてくださったおかげと感謝しています。

実習中は至らない点が多く、何かと職員の皆様にご迷惑をかけたのではないかと存じますが、机上での勉強では決して学ぶことのできない貴重な経験をさせていただきました。

実際に自分たちで企画展を一から起案する実習では、資料の取り扱いや、照明などの他に仲間と協力して、一つのものを創造していくことの難しさや重要

性を学ぶことができました。私の起案内容を皆が一丸となって膨らましてくれたおかげで、私が想像した以上の企画展を作ることができました。そして、学芸員の仕事にさらに魅力を感じることができた実習でした。

今後、鬼の館での実習で得た経験を毎日の勉強や、将来の仕事に活かしてさらに頑張っていく所存です。

博物館実習の2週間はお世話になりました、本当にありがとうございました。



跡見学園女子大学人文学科4年

千葉 茉耶

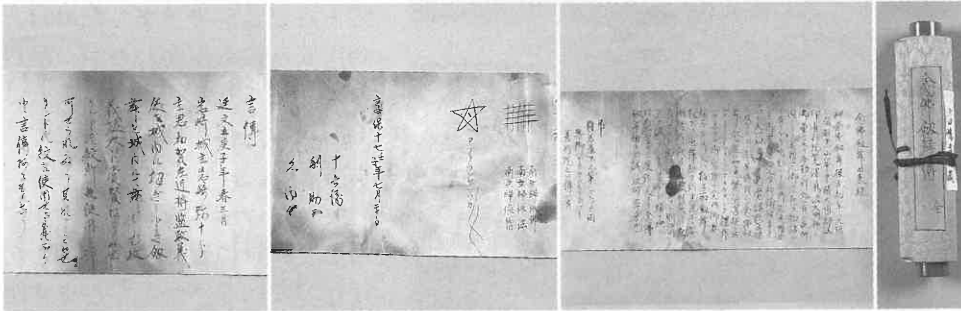
2週間という期間の博物館実習でしたが、大学での講義では体験できなかったこと、学べなかったことが多く、毎日毎日が濃い2週間でした。

私は盛岡市出身ですが、鬼の館の雰囲気や「鬼」を中心に据えた展示・事業に惹かれ、博物館実習をお願いしました。毎日盛岡から通うのは大変でしたが、家族の協力や職員の皆様、他の実習生のご理解があって乗り切ることができました。

温かく、優しく迎えてくださった館長の高橋政行様、主任学芸員の鈴木明美様、鬼の館の職員の皆様に心から感謝しています。ありがとうございました。博物館実習での経験、学んだことを大切に、前進していきたいと思っています。

今回は、当館学芸員が
鬼剣舞についてじっくり解説！
2号にわたるお話の
前編です！

scene17-① 鬼学ノート 「念仏剣舞の縁起と源姿」(前編)



鬼剣舞由来録(秘伝書)
享保17年銘
小田島了氏 蔵

1. 念仏剣舞の由来

「阿修羅踊り」「亡者踊り」「風流踊」「高館物怪」とも言われ区分される鬼剣舞。

一般的には岩手県南部地域に伝承される「念仏剣舞」と同種とされて、川西大念仏剣舞(奥州市衣川区)と朴ノ木沢念仏剣舞(奥州市胆沢区)、岩崎鬼剣舞(北上市岩崎)と滑田鬼剣舞(北上市滑田)の四つの踊り組が1993年12月13日に国指定無形民俗文化財、「鬼剣舞」として一括指定を受けている。

これら同種とされる念仏剣舞の由来については、伝承される地域によって様々である。この由来について、各踊り組の中に現存する秘伝書とされる巻物や相伝時に言葉で伝承されてきた口伝、さらには二郡見聞私記や由来本・菅江真澄遊覧記などを集約し、総合的にまとめてみると次のようになる。

- (1)大宝年間(701~704)に修験山伏の祖、役の行者小角が天下泰平・五穀豊穰・万民如意を願い、満願の七夕の夕暮れに踊った「念仏踊り」に始まる。(北上岩崎・胆沢南下幅)
- (2)大同3年(808)羽黒山法院善行院が修行の際に二人の老僧から伝授され、悪魔退散・衆生済度の「念仏踊り」として始められた。(北上岩崎・胆沢南下幅・胆沢新里)
- (3)康平年間(1058~1065)安倍黒沢尻五郎正任が踊りを好み、兵士に出陣や凱旋時に踊らせたことで広く普及したもの。(北上岩崎)
- (4)康平5年(1062)安倍黒沢尻五郎正任亡魂済度のために踊られたのがはじまり。(二郡見聞私記：鬼剣舞)
- (5)前九年の役後に清衡が安倍氏亡魂を済度するために踊られたのが始まり。(衣川川西)
- (6)義経主従の亡霊を済度するために踊られたのが始まり。(胆沢朴ノ木沢・遊覧記)

(7)悪呂王の亡霊済度のために踊られたのが始まり。(胆沢化粧坂)

(8)定額寺極楽寺僧が行者舞(剣舞の祖型)を舞ったのが始まり。(司東真雄論説)

以上8項目に集約される念仏剣舞や鬼剣舞の派生由来は、いずれにおいても史実や源姿に基づいて記されたものであるとは考えにくい。(1)の由来は、事実、小角を祀る神社が奈良県に存在し、さらに山形県羽黒山荒澤寺においても布教足跡があり、各種の芸能の始祖としても祀られる。しかし、小角自体が実在の人物ではなく、架空の人物説や似ている人物を抽象化した人物説としての存在が語られて祀られているものであり、想像の域を超えない口伝に過ぎず信憑性に欠け、(2)は、雷鳴と共に何処からともなく現れた金剛界大日と胎藏界大日の化身とされる僧侶によって伝授されたものとする。これもまた幻夢に富んだ精神信仰性の色濃い事象であることからすれば、念仏剣舞の派生由来としては、誠に信憑性に欠けるものとなろう。また、(3)~(7)は、史実に登場する実在の地方豪族を主とした派生由来であるが、いずれも派生や伝承過程における一コマであるに過ぎず、それが契機となって始められたものとは考えにくい。すでに地域に存在していた対象となる礎としての「踊り」の派生姿がこれらには欠け、源姿としては妥当性に欠ける。

(8)は、北上市内に所在する「極楽寺」の儀礼儀式舞及び僧侶の活動に着眼しての仏教史観的側面からの論考である。「極楽寺」は、天安元年(857)、時の朝廷から官寺として位置づけされた寺であり、一山36坊を有す大寺である。その衆徒は妻帯修験者といわれ、護持組織を有しており、祭典には神楽や舞楽が奏され、五大明王の仮面で行者舞が奉納されていたとされる。この「行者舞」については、永仁の頃

(1293~1299)に当寺の僧侶によって成立されたものとして、「剣舞の祖型」の言葉のもとで「立花剣舞」の巻物に記録されており、この巻物の存在と他の剣舞の縁起などを総合的に検討して推論し、念仏剣舞の源姿としている論考である。

民間に伝承される縁起のほとんどは、“他言べからず”の言葉のもとで固く守られ、相伝の際に口伝で伝えられてきたものであり、現存する巻物も口伝を基本として江戸時代中期以降に記されたものである。また、これら巻物に記された内容を検討すると、当時の庶民の手によって記されたものとは考え難いほどに専門用語が多用され、歴史事象に合致した形態で書き綴られていることに妙な違和感をもつ。

一方、極楽寺については「文徳天皇実録」という歴史書の、天安元年(857)6月3日の条に記される「陸奥国の極楽寺を定額寺となし・・云々」という記事の「極楽寺」あたるものとして解釈され、昨今の発掘調査によって国見山を中心とする大規模な山岳寺院

であることが明らかになり、さらに現存する仏像群としては10世紀以降の立花毘沙門堂の仏像群がこの寺院にかかわるものとされる。しかしながら、「極楽寺」が国の官寺としての位置づけを有す寺院であったとしても、寺院としての儀式儀礼や地域での布教活動を記す記録文書が皆無の現状では推論だけに止まるものと解釈する。当然ながら(8)も他の類例などを集約しこれに検討を加えた論説の域をでない。

いずれの縁起も後世において正当性を加味して付け加えられた縁起的な由来であり、本来の派生原因となった源姿とはかけ離れたものと考えられる。

では、念仏剣舞の源姿は、何をもち、どのような社会情勢の中で形作られ、今日に至ったのであろうか。次号で推論を記すことにします。

すずき あきよし
鈴木 明美
北上市立鬼の館 上席主任学芸員

今年4月、北上市立鬼の館に
新館長が就任しました。
就任にあたり、
高橋政行新館長より
一言いただきました。



このたび4月1日の人事異動により、前高橋勝館長の後任として着任いたしました。

鬼の館館長の辞令をいただいたとき、鬼について知識のない自分にとってこの重責に耐え得るだろうか非常に不安でありましたが、素晴らしいスタッフに恵まれ、そして支えられ6ヶ月を経過しようとしております。鬼とは何か?と問われても非常に奥が深く「うーむ…」という現状です。勉強を重ね、即答できるよう頑張ります。

さて、当館も平成6年開館以来、今年で16年目を迎えました。この間、中国の仮面展、ゲゲゲの鬼太郎ワールドなど22回の企画展や特別展を開催し、全国各地から50万人を超えるお客様にご来館いただきました。これは全国でも稀な「鬼」のテーマ博物館という興味や珍しさもあつてのことと思いますが、これまでの館長はじめ職員の方々の館づくりに対する強い意識と事業企画の素晴らしさ、そしてなによりも地域の方々の心強い協力があつてのことと思っております。

当館では、「鬼とは何か」を探ることを目的に、前記の企画展、特別展をはじめ、鬼学講座や鬼っこわんぱく講座、また芸能公演、大乘神楽大会、福豆節分会などさまざまなイベントを開催し多くの観覧者や受講者の参加をいただいているところですが、これからも市民に親しまれ気軽に立ち寄れる施設として、また多くのお客様にお越しいただける施設としてより一層の事業企画等に努力してまいります。

開館以来15年を経過し、旅行形態やお客様のニーズに変化がみられることから、これらに対応したサービスの充実と展示替えが必要と考えております。幸いにも鬼学講座受講生を中心に「鬼の館友の会」がまもなく設立されることから、互いに協力運営し来館の皆様により一層のサービスを提供してまいりたいと考えております。

また、この地域は夏油高原温泉郷等、四季折々自然に恵まれた観光拠点で、当館はその玄関口にある施設であることから、文化施設であるとともに観光施設の側面を発揮し地域の温泉業者及び関係団体等と互いに連携しあひ多くの観光客誘致に努めたいと考えております。

微力ではございますが常にチャレンジ精神を持ち職員一同と手を取り、知恵を出し合い、館のため、地域のためそして北上市のため一生懸命頑張っておりますので、前高橋勝館長同様ご指導ご協力を賜りますようお願いいたします。

鬼の里だより

●企画展・特別展

- 〈特別展〉「土産と産土鬼 ～今昔の鬼土産～」
4月10日(金)～5月10日(月) 2,995人
- 〈特別展〉「江戸の絵師 歌川派」
5月24日(日)～8月16日(日) 7,012人
- 〈特別展〉博物館実習生企画
「鬼の絵本展～絵本で出会う30の鬼たち～」
8月31日(月)～9月27日(日) 2,009人

●鬼ッズ・プレイミュージアム 4月1日～9月30日

- 和紙面づくり 参加者 154人
出前講座 4件 参加者 211人
＜夏休みワークショップ＞
魔除けキーホルダーづくり 参加者 107人
手すき和紙ハガ鬼づくり 参加者 45人
鬼てぬぐいづくり 参加者 24人

●大乘神楽大会

6月14日(日) 観客 372人

●鬼の館芸能公演

- 4月26日 北藤根鬼剣舞 観客 129人
5月4日 岩崎鬼剣舞
岩崎おなご剣舞 観客 234人
5月5日 三館鬼剣舞 観客 272人
5月24日 口内鬼剣舞 観客 113人
6月7日 鬼柳鬼剣舞め組
岩崎おなご剣舞 観客 117人
6月28日 滑田鬼剣舞 観客 145人
7月26日 二子鬼剣舞 観客 123人
8月15日 谷地鬼剣舞 観客 223人
8月23日 相去鬼剣舞 観客 147人
9月27日 鬼柳鬼剣舞 観客 125人

●鬼っこわんぱく講座

- こどもの日わくわくイベント
5月5日 参加者 507人
鬼っこ合宿「ボクラ鬼っこ探検隊
～夏だ キャンプだ 北上鬼ッズ! in 旧岩崎新田小学校～」
8月5日(水)～7日(金) 参加者 28人

利用案内

開館時間 午前9時から午後5時まで。

なお、入館は午後4時30分まで。

- 休館日
- ・12月～3月の月曜日
 - ・12月～3月の国民の祝日の翌日(土・日・月曜日の場合は火曜日)
 - ・館内整理日(11月27日～11月30日)
 - ・年末年始(12月28日～1月4日)
 - ・臨時休館日(5月26日、9月15日)

入館料

一般	350円 (300円)
高校生	240円 (180円)
小中学生	170円 (120円)

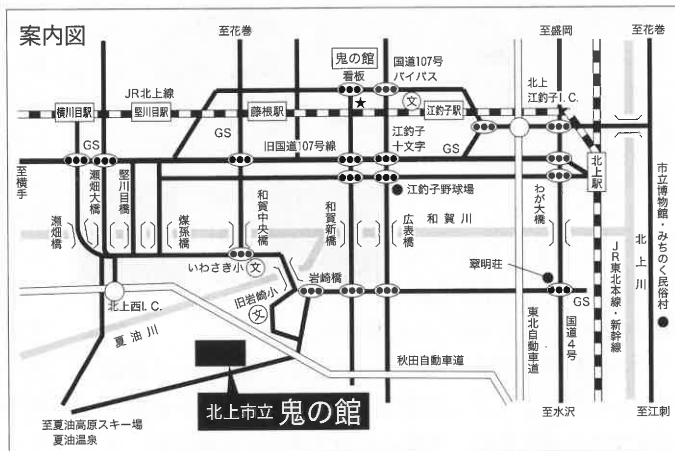
()内は20人以上の団体料金。

下記の場合、市内小中学生は入館料が免除になります。

- ・毎週土・日曜日
- ・学習活動で申請利用する時

交通案内

- ・JR北上駅西口よりバスで25分。
煤孫経由横川目行、瀬美温泉行「岩崎橋」
下車徒歩10分。
- ・JR北上駅より車で20分。
- ・東北自動車道「北上江釣子I.C.」、秋田自動車道「北上西I.C.」よりともに車で15分。



北上市立鬼の館だより

第 31 号 2009.9.30

編集・発行 北上市立鬼の館

〒024-0321 北上市和賀町岩崎16地割131番地
TEL 0197(73)8488 FAX 0197(73)8508